

4thのガイドライン(高校用)

2024年度版

東京都高体連サッカー専門部女子審判委員会

4thをする前に競技規則で副審の任務については最低限確認
大会要項の試合時間、交代の人数、ベンチの人数など最低限確認

0. 時間の計測の補助

基本的には主審が時間を計っているが、4thも万が一のため、また試合時間を自身でも確認、主審の補助(飲水やアディショナルタイムの表示のアピール、など)をできるようにするために、計測をする

1. 交代の管理

交代を要求されたときに、登録メンバーであるか、再交代ではないかを確認し、用具のチェックを行い、交代する選手の番号を交代ボードで表と裏に作成する。
交代ボードの出し方、上げるタイミングを主審と試合前に確認
※試合前に必要があれば先発メンバーの用具チェックも行う

2. ボールの管理(マルチボールシステムの際はボールパーソンに任せることがある)

3. アディショナルタイムの表示

通常2,3分前に主審が4thに伝え、前半、後半の終了時間にボードで追加時間を示す
ボードがない場合は、口頭で伝える

4. 試合の記録の補助

審判手帳を持ち、試合の記録をとり、記録の援助をする
自分から近い位置のゴールに関しては、どの選手がゴールしたか
交代の確認

5. 負傷者の対応

負傷者が出て、フィールドの中にスタッフを入れる、担架を入れるタイミングを 主審
の合図を見て入場させる
負傷者の止血確認や主審の承認を受けた後の再入場の管理

6. 主審が見えない事象に関するサポート(ファールサポート含む)

4thの目の前のプレーであったり、主審が見えてない事象や、主審より4thのほうが明らかにはっきりと見える事象に関して主審をサポートする。
どの程度協力するかは主審と確認

7. テクニカルエリアの監視

テクニカルエリア内で責任ある行動をとらないことに対して主審に伝達する
主審と打ち合わせて、ベンチで何か問題があったときにどのように対応するか